いちばん身近な文芸誌

民主文学8月号より新連載スタート

毎月8日発売

編集・発売　日本民主主義文学会
TEL 03-5940-6335 FAX 03-5940-6339
〒170-0005　東京都豊島区南大塚2-29-9 サンレックス202号

郵政労働者の私がなぜ書くようになったか

なかむらみのる氏

なかむらみのる
１９３６年新潟県村上市生れ。郵政職員として４２年，１９９７年退職、現在九条を守る阿賀野の会事務局長。
著書に「恩田の人々」「山峡の町で」「手紙物語」「郵便屋さん」「草の根九条・萃点の人々」「阿賀野川」、「信濃川」。現在「新潟平野」を執筆中。

筆者のことば

私は城下町村上市で生まれ育って１８年、長野市で郵政研修生として1年、１９５６年水原郵便局に赴任、１９９７年定年で退職、現在８０歳です。一直線で無事な人生でした。
ところが私は、１９６０年安保闘争をたたかい、日本共産党に入党、１９８４年日本民主主義文学会に加入、２０００年総選挙で候補者として活動するなど有事の人生を送りました。先日、私は宣伝カーで野党共闘の実現を訴え、２千万署名の行動に参加しました。郵便配達をして市内の殆んどの家を知る私は、こういう時役に立ちます。
社会革新の活動に参加しているのはなぜなのか。どうして小説を書くようになったのか、何を書いてきたか、どんな小説を書こうとしているのか。私の六十年を書きます。

■この機会に、『民主文学』をぜひご購読ください■

なかむらみのるさんが、「設計図」で『民主文学』五月号、三十年以上社会革新の活動と重なった文学への情熱を語っていただきます。
一年にわたって『民主文学』がお届けする連載エッセイにご期待下さい。

魅力の新連載エッセイ！

郵便屋さんの作家道

なかむらみのる

■■ 社会革新の活動と重なった文学の道 ■■

購読申込書

民主文学購読費
月額 970円送料込み

月　日

いずれかに○印をつけてください

8月号より定期購読する

「郵便屋さんの作家道」連載中のみ購読する

日本民主主義文学会 FAX番号03（5940）6339

★左の用紙を切り取って、FAXあるいは郵送でお申込ください。雑誌は直接自宅にお送りします。

お名前

ご住所〒

電話番号